

日本組織培養学会



会員通信

第146号

令和4年1月28日

発行者 日本組織培養学会

編集 日本組織培養学会  
情報・アーカイブ担当理事  
山本 直樹 (藤田医科大学)

〒470-1192  
愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98  
藤田医科大学 研究支援推進本部  
治験・臨床研究支援センター  
バイオリソース室  
E-mail : naokiy@fujita-hu.ac.jp

## 目次

1. 年頭のご挨拶 ..... 2
2. 日本組織培養学会 第94回大会(2022年)のお知らせとご挨拶 ..... 3
3. 第94回大会 奨励賞申請と発表について ..... 6
4. 第94回大会 English Presentation Award 応募案内 ..... 8
5. 委員会報告 .....10
  - 法人化推進委員会報告
  - 細胞培養基盤教育委員会報告

## 1. 年頭のご挨拶

代表理事 藤井 万紀子

新年明けましておめでとうございます。令和4年の年頭にあたり、本学会会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により1年延期になっていた日本組織培養学会 第93回大会を大会長としてハイブリッド開催で無事執り行うことができました。直前にデルタ株の感染拡大のピークを迎えることとなり、皆様には大変ご心配をおかけ致しましたが、久しぶりに最先端の研究や若手の精力的な活動を体感することができたという感想を多くいただきました。現在、感染拡大中のオミクロン株も心配ではございますが、ワクチン接種や新規治療薬の開発などを通して、今年こそは活発な議論が飛び交う研究生活の日常を取り戻せることを切に願います。

代表理事を仰せつかり、既に1年が経とうとしております。現在、法人化に向けての作業が各担当理事の先生方のご協力のもと、強力に推進されております。その中で学会収支に関する見直し、会計予算・決算の更なる明瞭化なども含め、総合的な問題点の洗い出し、またそれに対応するシステム改革も同時に行っております。本学会員の皆様には、今後も進捗状況をご案内させていただきます、またご意見などをお伺いする機会が増えると思っておりますが、その節は何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

細胞培養基盤技術コースも、状況を鑑みながら順次再開していく予定です。コースIIIは、令和4年3月12日(土)に岡山理科大学で開催することとなりました。各会場の使用に関する制限があるため、すぐに2020年1月以前の開催回数に戻すことは難しいのですが、準備が整い次第、順次コースIとコースIIも再開できればと考えております。長らく受講をお待ちの会員の皆様には、以上のことをご理解のうえ、今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとって幸多き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

## 2. 日本組織培養学会 第94回大会(2022年)のお知らせとご挨拶

第94回大会長 小原 有弘

2021年は、新型コロナウイルス感染症による生活環境変化を余儀なくされる中においても、東京オリンピックでの日本人選手の活躍、大リーグでの大谷翔平選手の MVP 獲得、将棋界における藤井聡太棋士の最年少四冠達成など、輝かしい成果が実った1年であったと思います。

次に日本で開催される大きなイベントは何かと考えると、真っ先に浮かぶのが2025年に大阪で開催される大阪・関西万博が挙げられると思います。この万博はテーマを「いのち輝く未来社会のデザイン」として、大阪を中心として開催される予定です。この万博では、日本が誇る医療分野における新たな技術などが世界に発信されることが期待されており、当学会の研究者においても非常に興味深いものになるものと考えられます。そのような環境の中、2022年7月7日(木)、8日(金)に第94回大会を大阪の地で開催できることを光栄に思います。

第94回大会のテーマは『-創薬を支える細胞の未来- 細胞によるイノベーション』です。

本大会では、細胞培養の基盤技術から再生医療、創薬および動物実験代替法などの幅広い分野において、活発なディスカッションが行われる大会にしたいと思い、企画を考えております。シンポジウムとして「創薬研究に必要な機能性細胞の開発応用」、「バイオバンク試料の活用による創薬展開」をテーマに最新知見を紹介していただきます。特別講演には毒性学、動物実験代替法などの分野でご活躍の小島 肇 先生をお招きし、ご講演を賜る予定です。さらに特別企画として、創薬研究の最前線において最新の研究開発を進めている医薬基盤研究所の先生にご登壇いただき、医薬品を創る研究に関する最新知見をご紹介します。また、新たな取り組みとして学会における企業協賛の重要性を再認識するため、企業ブース展示のみならず学術発表とは別に企業における開発研究者の発表

(企業開発者ポスター発表)の機会を設け、企業と研究者の橋渡しの場としたいと考えております。是非、ご支援くださる企業の方々との交流の場としてご活用いただければ幸いです。

一方、現在の新型コロナウイルスによるパンデミックで、我々の生活は大きく変化しました。出張はweb会議に代わり、事務作業は自宅でテレワークとなり、良くも悪くも日常の変化が急激に進みました。同様に、学会の年次大会もその殆どがオンライン開催に代わり、オンサイトでの議論とは異なる意思疎通の難しさに、苦勞することも多いように思います。また、年次大会の開催を支えていただいている協賛企業の方々にとっても、宣伝の機会を十分に確保することができず、新たな方法で宣伝を行わざるを得ない状況となっています。今大会では新たな時代に適した大会の運営方法を模索しながら、是非とも大阪の地で関連な議論を深めていただくべく準備を進めております。

最後に、日本組織培養学会第93回大会(広島)においては、コロナ禍の状況においても活発な学術的発表ならびに討議が行われ大変な盛會に終わりました。第94回大会の開催時期において、新型コロナウイルス感染がどのような状況になっているかはいまだ不明ですが、可能ならば皆さまを大阪にお迎えして、活発なご発表とご議論をいただきたいと願っております。ご参加をお待ち致しております。

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所  
培養資源研究室 研究リーダー 小原 有弘

## **大会概要**

大会長：小原 有弘（医薬基盤・健康・栄養研究所 培養資源研究室）

テーマ：－創薬を支える細胞の未来－ 細胞によるイノベーション

会 期：2022年7月7日（木）・7月8日（金）

会 場：千里ライフサイエンスセンター ライフホール・サイエンスホール  
（大阪府豊中市新千里東町 1-4-2）

日本組織培養学会 第94回大会実行委員会

実行委員長：小原 有弘

実行委員：藤井 万紀子（広島大学大学院 医系科学研究科 ゲノム口腔腫瘍学 教授）

浅香 勲（京都大学 iPS 細胞研究所 基盤技術研究部門 教授）

片岡 健（岡山理科大学 理学部 臨床生命科学科 教授）

嶋本 顕（山口東京理科大学 薬学部 薬学科 教授）

森 一憲（昭和大学 薬学部 基礎薬学講座 腫瘍細胞生物学部門 講師）

山本 直樹（藤田医科大学 研究支援推進本部 特任教授）

協力者：竹澤 俊明、二川 浩樹、松木 亨、山崎 泰助、筒井 健夫、林 洋平、中村 和昭、  
須藤 和寛、菅 修平、黒澤 尋、阪口 政清（順不同、敬称略）

### **[特別講演]**

小島 肇 先生（国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部）

### **シンポジウム 1 『創薬研究に必要な機能性細胞の開発応用』**

森實 飛鳥 先生（神戸市立医療センター中央市民病院 臨床研究推進センター 再生医療研究部）

櫻井 英俊 先生（京都大学 iPS 研究所 臨床応用研究部門）

高山 和雄 先生（京都大学 iPS 研究所 増殖分化機構研究部門）

阿久津 英憲 先生（国立成育医療研究センター研究所 再生医療センター 生殖医療研究部）

### **シンポジウム 2 『バイオバンク試料の活用による創薬展開』**

森田 瑞樹 先生（岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科）

荻島 創一 先生（東北大学 東北メディカル・メガバンク機構）

宮城 洋平 先生（神奈川県立がんセンター臨床研究所）

### **第94回大会特別企画：医薬基盤研セミナー ～創薬研究の未来～**

國澤 純 先生（ワクチン・アジュバント研究センター）

水口 賢司 先生（AI 健康・医薬研究センター）

木村 友則 先生（難治性疾患研究開発・支援センター）

津本 浩平 先生（創薬デザイン研究センター）

- 奨励賞対象演題
- English Presentation Award
- テクニカルセミナー：細胞培養指導士講習会（細胞培養基盤教育委員会）
- 一般発表・ポスター発表
- 企業開発者ポスター発表
- ランチョンセミナー
- 総会

### 奨励賞対象演題の募集

奨励賞対象演題に応募される方は、指定の申請書類を 2022年2月14日（月） までに電子メールにて提出してください。

学会ホームページ <https://www.jtca.net/>  
 第94回大会ホームページ <http://jtca.umin.jp/meet/y2022/index.html>  
 奨励賞対象演題募集について [http://jtca.umin.jp/shourei/shourei\\_index.html](http://jtca.umin.jp/shourei/shourei_index.html)

### 一般演題（口頭発表、ポスター発表）・English Presentation Award Competition (EPA) の募集

第94回大会ホームページの「演題登録」Web ページより指定様式（Word ファイル）に演題抄録を入力し、電子メールにてご提出ください。詳細は第94回大会ホームページならび「演題登録」Web ページをご確認ください。English Presentation Award (EPA) 演題登録ご希望のかたは、「EPA」 Web ページにて規定をご一読ください。

「EPA」 Web ページ [http://jtca.umin.jp/EPA/EPA\\_index.html](http://jtca.umin.jp/EPA/EPA_index.html)

演題登録期限： 2022年4月4日（月） 締切厳守

### 参加費について

	会員種別	大会参加費
事前登録	一般会員 <sup>※</sup>	6,000 円
	学生会員 <sup>※</sup>	3,000 円
	非 会 員	8,000 円
	学生非会員	4,000 円
当日登録	一般会員 <sup>※</sup>	7,000 円
	学生会員 <sup>※</sup>	4,000 円
	非 会 員	10,000 円
	学生非会員	5,000 円
	名 誉 会 員	無 料

※一般会員および学生会員には、日本動物実験代替法学会会員および同学会学生会員が含まれます。

懇親会開催は、現時点では未定です。

事前登録方法につきましては、追って第94回大会ホームページ上にてお知らせ致します。

## 日本組織培養学会 第94回大会 大会事務局

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 培養資源研究室

Tel /Fax : 072-641-9851

E-mail : jeta94@nibiohn.go.jp

### 3. 第94回大会 奨励賞申請と発表について

教育・奨励賞担当理事 中村 和昭

第94回大会奨励賞申請についてご案内いたします。新型コロナウイルス感染症拡大にともない、2020年度に予定されていた第93回大会は2021年度に延期となり、2021年度の大会は現地/Webのハイブリット開催となりました。そのような中でも学会員のみなさまのご協力をいただき、奨励賞は中断することなく、募集・審査・授与を続けてきました。第94回大会におきましても、日本組織培養学会奨励賞の目的である「将来性ある若手研究者の研究を奨励し、本学会の活性化を図る」ため、奨励賞演題の募集を行います。

日本組織培養学会奨励賞は40歳以下の若手研究者を対象としております。若手研究者の皆さまには受賞を目指して、第94回大会でも積極的に申請していただくことを期待しています。

#### 1. 申請資格

- ・申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- ・2022年4月1日現在で40歳以下であること。
- ・第94回大会にて発表する奨励賞応募演題の筆頭発表者であること。
- ・日本組織培養学会 奨励賞を未受賞であること。

#### 2. 申請方法

申請用紙を大会ホームページよりダウンロードしてご記入ください。申請には、本学会評議員の推薦が必要です。推薦者の捺印や直筆サインは不要ですが、必ず推薦者の承諾を得てください。申請に当たり評議員がご不明な場合はお問い合わせください。申請書類を電子メール添付にて「6. お問い合わせおよび申請書送付先」宛てに送付してください。書面審査の上、奨励賞演題としての登録可否を通知いたします。奨励賞演題の登録が認められた場合、大会ホームページから演題抄録の登録を行っていただきます。奨励賞演題の登録可否の通知は3月中旬を目途に行います。

#### 3. 応募×切

##### 2022年2月14日(月)

※奨励賞演題登録が認められる前に抄録登録を行わないようお願いいたします。

#### 4. 発表形式

今後、第94回大会ホームページにて詳細をご案内いたします。

5. 受賞者の皆様へのお祝い

奨励賞を受賞された場合、以下の学会活動へのご協力をお願いします。

- (1) 会員通信に「受賞の感想」を寄稿する。
- (2) 受賞題名に関連する論文（原著または総説）を本学会機関誌（Tissue Culture Research Communication）に投稿する。

6. 問い合わせおよび申請書送付先

中村 和昭 （E-mail: nakamura-kz@ncchd.go.jp）

## **Application and Presentation for the Young Investigator Award at the 94th Annual Meeting.**

We would like to inform you about the application for the Young Investigator Award (YIA) for the 94th Annual Meeting. Due to the expansion of COVID-19, the 93rd Annual Meeting scheduled for 2020 has been postponed to 2021, and the 2021 meeting will be held as a hybrid on-site/web meeting. In spite of these circumstances, with the cooperation of the members of the Society, we have continued to accept applications, review and award the YIA without interruption. At the 94th Annual Meeting of the Japanese Society for Tissue Culture, we will continue to accept abstracts for the Award for Young Scientists in order to "encourage the research of promising young scientists and revitalize our society.

The YIA is open to young researchers under the age of 40. We hope that young researchers will actively apply for the award at the 94th Annual Meeting.

1. Applicants must meet the following criteria

Must be a member of the Japanese Tissue Culture Association at the time of application.

Must be under 40 years old as of April 1, 2022.

Must be the first author of the presentation to be presented at the 94th Annual Meeting.

Must not have received a YIA before.

2. Application

Please download the application form from the conference website and fill it out. The application must be recommended by a Councilor of the Society. The recommendation does not need to be stamped or signed by the recommender, but the approval of the recommender must be obtained. Please contact us if you are not sure who the councilor of the society is for your application. Please send the application documents as an e-mail attachment to "6. Contact for applications and inquiries. The application will be reviewed in writing, and you will be notified whether or not your presentation will be registered for the YIA. If your abstract is accepted for the Award, you will be asked to register your abstract on the conference website. Notification of the acceptance or rejection of the presentation for the Award will be made by the middle of March.

3. Deadline of application.

**February 14, 2022**

Please do NOT submit to online registration BEFORE the approval of application by YIA office.

4. Presentation

The style of presentation will be announced in the "The 94th Annual Meeting Website".

5. If awarded, the awardee will be required to take the following actions.

- (1) To submit the comments of impression for getting the Young Investigator Award to Newsletter of Japanese Tissue Culture Association soon after the Annual Meeting,
- (2) To submit the paper (regular articles or review articles) to "Tissue Culture Research Communications" by the consistent title applied to Young Investigator Award after the Annual Meeting.

6. Contact for applications and inquiries.

Kazuaki Nakamura, Ph.D.

E-mail: nakamura-kz@ncchd.go.jp

#### 4. 第94回大会 English Presentation Award 申請と発表について

教育・奨励賞担当理事 中村 和昭

日本組織培養学会では、会員の国際的発信能力の増進を奨励し、本学会の活性化を図ることを目的に、English Presentation Award (EPA) の授与を行っています。第94回大会におきましても、EPA 演題の募集を行います。新型コロナウイルス感染症拡大にともない、国際学会への出席が困難になっており、英語での研究発表の機会が減っているかと思えます。国際学会での発表を想定した腕試しにもつながると思えます。学会員の皆様の積極的な応募を期待します。

1. 申請資格

- 申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- 第94回大会にて発表する EPA 応募演題の筆頭発表者であること。
- 日本組織培養学会 EPA を未受賞であること。

2. 申請方法

演題登録時に EPA 応募の旨を明記し、要旨記述を英語で行う。

3. 応募〆切

一般演題登録の期限と同様



4. 発表形式

英語による口頭発表

5. 問い合わせ先

中村 和昭 (E-mail: nakamura-kz@ncchd.go.jp)

**Application and Presentation for the English Presentation Award at the 94th Annual Meeting**

The Japanese Tissue Culture Association awards the English Presentation Award (EPA) to encourage members to improve their ability to communicate internationally and to revitalize the society. We will be accepting EPA abstracts at the 94th Annual Meeting. With the expand of COVID-19, it has become difficult to attend international conferences, and the opportunities to present your research in English may be decreasing. This will be a good opportunity to test your skills in preparation for presentations at international conferences. I look forward to the active participation of all members of the society.

1. Applicants must meet the following criteria

Must be a member of the Japanese Tissue Culture Association at the time of application.

Must be the first author of the presentation to be presented at the 94th Annual Meeting.

Must not have received an EPA before.

2. Application

When submitting an abstract, indicate that you are applying for EPA and write the abstract in English.

3. Deadline of application.

Same as the deadline for general abstract submission.

4. Presentation

Oral presentation in English

5. Contact for inquiries.

Kazuaki Nakamura, Ph.D.

E-mail: nakamura-kz@ncchd.go.jp

## 5. 委員会報告

### ◆法人化推進委員会

浅香 勲 理事、小原 有弘 理事

#### 活動概要

2020年度までの学会運営改革委員会活動において学会会則・細則が改定され、新理事18名が選出されました。新体制の下、法人化推進委員会が設置され、法人化を進めることとなりました。学会の法人化は、これまでの任意団体という形式から一般社団法人として財産をもち、契約を結び、それに基づく権利義務関係を明確化することのできる団体として移行するために必要であり、これまで幹事会の中で長く議論されてきました。

日本組織培養学会第93回大会に合わせて行われた理事会ならびに総会、2021年11月30日に行われた臨時理事会を経て、一般社団法人 学会支援機構に法人化支援ならびに法人事務所所在地として学会業務委託を行うことが承認されました。今後、法人としての定款の作成、総会における承認を経て、法人登記などの手続きを進め、2022年4月には一般社団法人 日本組織培養学会として新たな一歩を踏み出せるよう準備を進めております。

なお定款につきましては、会員の過半数以上の賛意を要するため、書面又はインターネットを利用した臨時総会において可否投票を実施させていただく予定ですので、会員の皆様におかれましては是非ともご協力いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

#### < 今後の主なスケジュール (予定) >

2022年1月	定款(案)作成
2022年2-3月	定款の臨時総会での承認
2022年3月	法人登記・設立
2022年4月	会員の社員移行

### ◆細胞培養基盤教育委員会報告

委員長 片岡 健 理事

日頃より、日本組織培養学会細胞培養基盤教育委員会の活動へのご理解・ご協力をいただき感謝しております。

新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年度より細胞培養基盤技術コースの開催を停止しており、会員の皆様にはご迷惑をおかけしております。現時点で基盤技術コースⅠ・コースⅡは閉鎖空間である培養室内のベンチ前で講師・受講者が密接して行う、いわゆる3密の活動であること、また講師・受講者ともに全国各地から集まるのが問題となり、再開の目処が立っておりません。一方でコースⅢについては内容が座学と細胞培養士認定試験であることから、会員の皆様にご案内した通り2022年3月12日(土)に対面で実施する予定です。ただオミクロン株による第6波の蔓延状況によっては、会場等の変更や中止もありうることをご容赦ください。

現状の新型コロナウイルス感染状況において、多くの大学で学外団体への貸し出しを停止している状況が続いています。対面での実習が必須である細胞培養基盤技術コースⅠ・コースⅡについては、大学・専門学校での対面講義・実習が全国的に実施され、学外団体による利用が可能となった段階がコース再開のタイミングと考えております。現時点では、来年度中のどこかで再開できることを目指して調整を進めております。

ご質問などございましたら、委員長(片岡 E-mail: kenk@dls.ous.ac.jp)までお問い合わせください。今後とも会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。